

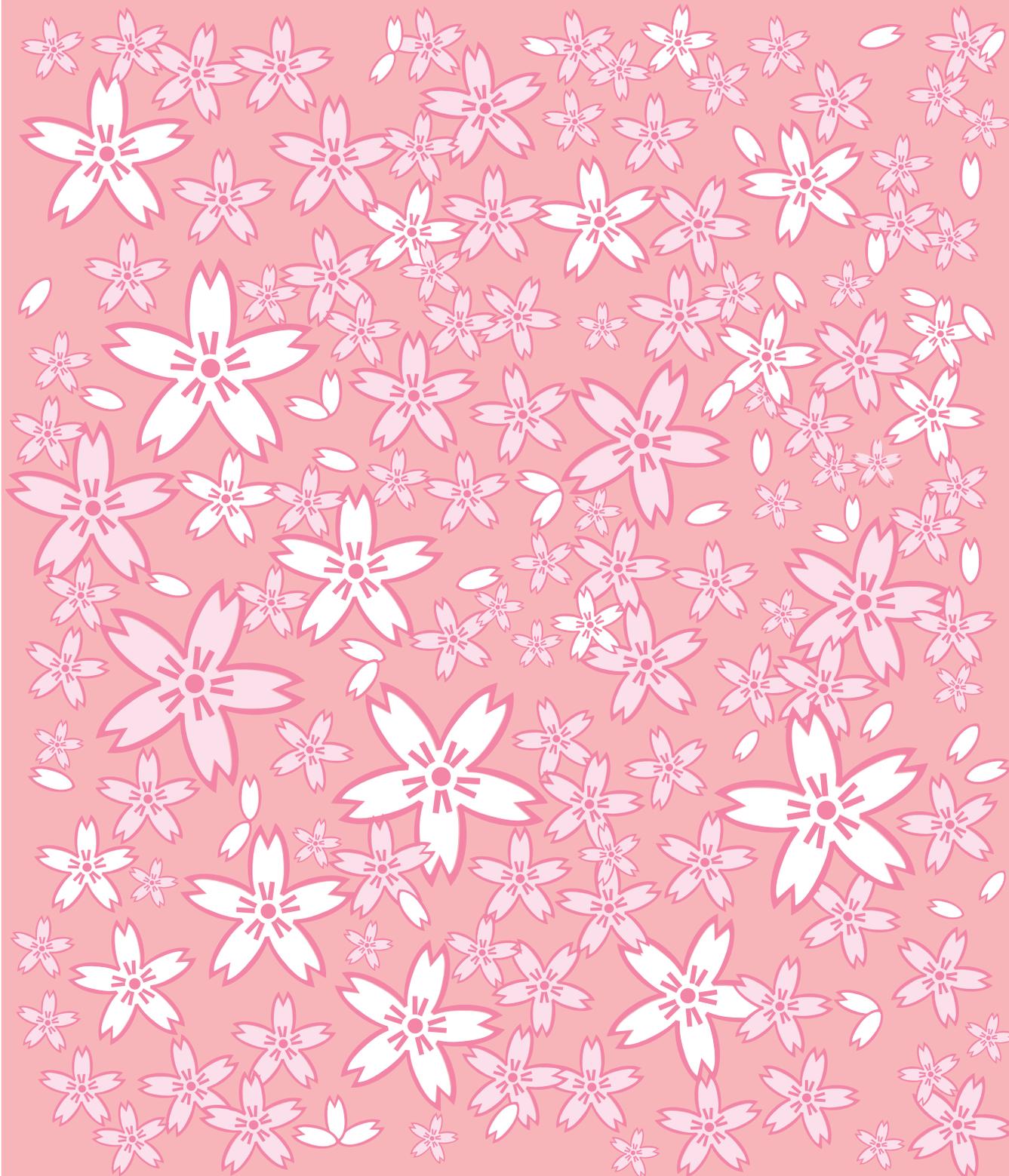
# 会報

春

No.181

2018.4

一般社団法人 北海道電業協会







# 長期的な将来を見据えた エネルギー政策の検討

北海道経済産業局

電源開発調整官 多田好克

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、日頃よりエネルギー政策の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

電力の安定供給確保、電気料金の最大限抑制、需要家の選択肢や事業者の事業機会の拡大などを目的とした電力システム改革が実施され、電力事業を取り巻く環境は大きく変化しています。特に2016年4月から、電気の小売業への参入が全面自由化されたことにより、電力市場には競争が起っております。

このような環境下、エネルギー政策については、昨年夏（2017年8月）より、「総合資源エネルギー調査会基本政策分科会」と、経済産業大臣主催の「エネルギー情勢懇談会」の2つの検討の場を立ち上げて議論を行っているところです。

総合資源エネルギー調査会基本政策分科会については、2014年に策定したエネルギー基本計画の進捗を確認し、2030年度の長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）の実現に向けた課題を洗い出して検討を進めているところですが、今回の検討において2030年段階でのエネルギーミックスが大きく変わることはなく、むしろ、いかにして2030年のあるべきエネルギー需給の姿が実現できるのかがポイントとなっております。

エネルギー情勢懇談会については、2050年視点での長期的なエネルギー政策の方向性や将来像に関して、パリ協定を踏まえた我が国の目標（温室効果ガスを80%削減）を達成するためには従来の取り組みの延長線上では非常に実現が困難なことも踏まえて、昨今のエネルギーあるいは環境に関

する様々なトレンドや変化を見極め、我が国が技術革新あるいは国際貢献の面でどうすれば世界をリードできるのか等々、あらゆる選択肢の可能性を追求するという視点で、幅広く、多面的かつ総合的に議論を行っているところです。

エネルギー問題は、国民生活と事業活動の基盤となる極めて重要な政策課題であります。このため、エネルギー政策は、3つの「E」（安定供給、経済効率性の向上、環境への適合）と1つの「S」（安全性）（= 3E + S）を基本的な視点として、この4つの視点をバランスよく実現しなければなりません。また、エネルギー分野は、発電所、送配電網・導管網、エネルギー需要機器等、設備の形成や利用が長期にわたるインフラが多く、需給体制の変更や整備等を行うには非常に時間がかかるため、エネルギー政策の検討は常に長期の将来を見据えて行う必要があります。

今後も、更なる省エネの進展や再エネの大幅な増大、人口減少に伴う電力需要の減少等、電力事業を取り巻く環境はかつてない規模とスピードで大きく変化していくものと思われませんが、北海道電業協会の皆様におかれましては、それぞれの役割と責任を果たしつつ、併せて事業環境の変化への対応をしっかりと進めながら、引き続きエネルギー政策の推進にご理解とご協力をお願いいたします。

## 平成30年 電気関係賀詞交歓会



平成30年1月12日(金)札幌グランドホテルにおいて、当協会と(一社)日本電気協会、北海道電気工業事業工業組合共催による恒例の「平成30年電気関係賀詞交歓会」が、3団体の会員合わせて380名が出席して開催されました。



挨拶 佐藤会長

3団体を代表して(一社)日本電気協会北海道支部の佐藤 佳孝会長から「昨年まではご招待を控えさせていただいておりましたが、今年は、児嶋経済産業局長様をはじめ、広く各方面から、お忙しい中多くの皆様にご臨席を賜っており、厚く御礼申し上げます。また電気工業関係の皆様には、例年になく寒波の襲来が早かったこの冬、年末から年始にかけて電力の安定供給にかかわるご苦勞を頂いたことと思います。

現場の最前線での皆様のご尽力に対し、改めて感謝申し上げます。さて、電力小売の全面自由化など事業環境が急速に変化する中、道民生活を支えるため電気を安心・安全に安定して届ける役目には変わりはありません。誠実に対応をお願いします」と呼びかけられました。

引き続き、来賓を代表して、北海道経済産業局長の児嶋 秀平様から「北海道が命名150年を迎えることに触れ、成長と分配が好循環する強い地域づくりに向け、それを支える電力の安定供給をお願いします」とご挨拶を頂きました。

この後、北海道電気工業事業工業組合の小野寺 涼一理事長の乾杯で交歓会が始まり、テーブルのあちこちで名刺交換や歓談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れ懇親を深めました。最後に当協会の吉本 浩昌会長の一本締めでお開きとなりました。



ご挨拶 児嶋局長



乾杯 小野寺理事長

## 技術講習会「自主検査と現場試験のポイントについて」



平成30年2月2日(金)北海道電気会館大ホールにおいて「自主検査と現場試験のポイントについて」の講習会を開催し、39名の方が受講しました。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の佐藤技術安全委員長（株きんでん）から「技術力の向上、安全作業の継続など我々ができることを確実に実行して、お客さまの安心・安全に役立てていかなければならない」と一人ひとりの資質や技能の向上を求めました。

講師には、北海電気工事(株)電設工事部技術グループ部長代理の川口 博氏が(社)日本電設工業協会本部から派遣されました。

講習会では、テキストとパワーポイント資料にて、受入検査、中間検査、工場検査、竣工検査などの自主検査、完成検査、現場試験について解説いたしました。

受講者は、スクリーンと資料を交互に見ながら熱心に講師の話に耳を傾けて重要なポイントを学んでいました。



挨拶 佐藤委員長



川口講師

## 電設業関連四団体懇談会



平成30年2月16日(金)北電興業(株)大会議室において、当協会、(一社)日本配電制御システム工業会北海道支部、北海道電気資材卸業協同組合、電気資材メーカー(パナソニック、東芝、三菱電機)4団体による懇談会を開催し18名が出席いたしました。

はじめに、当協会の吉本 浩昌会長から道内景気にふれた後、「工事量の地域的な偏在、技術・技能労働者の高齢化と人手不足感、労務単価や資材価格など建設コストの上昇など現実にはいろいろな課題を抱えております。



吉本会長

特に、人の問題に関しては、電設業界においても、社員の高齢化や若年入職者の減少によって長年培われてきた技術・技能をいかに的確に承継していくかが長年の課題となっており、業界の魅力

を高め、優秀な人材を確保していく取り組みが必要」と協力を求め挨拶いたしました。

続いて日本配電制御システム工業会の中山 尚之

北海道支部長、北海道電気資材卸業協同組合の三神 司理事長よりそれぞれ業界の現状報告を兼ねたご挨拶がありました。

引き続き懇談会の中では、パナソニック(株)エコソリューションズ社北海道営業部の吉田 貴城部長、東芝ライテック(株)北海道電材営業部の白戸直部長代理、三菱電機住環境システムズ(株)北海道支社開発営業部の三浦 潔部長から、LED等の照明器具や新商品紹介、蛍光灯器具の生産中止(平成30年3月まで)、市場動向の現状と今後の見通し・対策等それぞれの立場から報告がありました。

最後に、当協会の宇野専務理事から、当協会の現況と平成29年度会員大会決議内容等を説明した後、意見交換となりました。

会議終了後の懇親会では、情報交換の場となり終始和やかな雰囲気の中で終了いたしました。



中山支部長



三神理事長

## 札幌市都市局との意見交換会



平成30年3月6日(火)北海道電気会館において、電気・空衛連絡協議会〔当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会で構成〕と札幌市都市局幹部の方々にご出席をいただき、意見交換会を開催いたしました。

両協会から会長、副会長、理事合わせて24名が参加し、札幌市都市局建築部からは佐藤 博設備担当部長、高松 静和電気設備課長、中村 新一郎機械設備課長が出席されました。

はじめに当協会の吉本 浩昌会長から「業界を取り巻く状況として、技術者・技能者の高齢化と人手不足感。建設コストの上昇の課題。更に今後の大きなテーマとして『働き方改革』への取組があります。これらの課題解決に向けてのご協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。

続いて札幌市都市局の佐藤設備担当部長から「来年度は秋元市政におけるアクションプラン2015の最終年度なのでしっかりと事業量、予算を確保していくことで考えています。

また札幌市も働き方改革に向けては双方が真剣に取り組んで様々な課題を乗り越えていきたい。そのために日常的な情報交換が必要であると考えております。」と挨拶されました。

引き続き議事に入り、札幌市幹部の方から事業動向と今後の見通し等について説明がありました。

両協会からは①「現場管理社員の長時間労働是正(新規)」②「分離発注の継続」③「安定的な工事量の確保」について要望させていただきました。

札幌市都市局から①について「建築関係については週休二日試行工事の導入等に向けて検討しており、今後も国の動向を注視し取組んでまいります。」②について「地元企業の受注機会の確保は重要と認識しています。特に電気・機械設備は専門的な知識が必要とされることから分離発注を継続します。」③について「市有施設の長寿命化を目的とした保全推進事業を平成20年度から実施し、年々事業規模を拡大、今後も冬季オリンピックや政令都市移行契機に整備された施設等の建替を計画しており、工事量は安定的なレベルで確保されていくものと考えています。」と回答いただきました。

最後に北海道空調衛生工事業協会の池田 薫会長より閉会の挨拶をいただき、平成29年度札幌市都市局との意見交換会を終えました。



札幌市都市局の皆様



## 活力湧き出る みどり美しい 水のまち ～京極町～

京極町長 山崎 一 雄



### ■まちの概要

京極町は、北海道の西部、後志管内の東部に位置しており、東西に14.3km、南北13.8km羊蹄山の麓に広がっています。年間の平均気温は8℃で、最深積雪量が2m近くにもなる、道内でも有数の豪雪地帯となっています。

明治時代から続く、羊蹄山麓の豊かな大地を耕してきた京極町の農業は、ジャガイモやニンジンなどをはじめとする農産物を、数多くの農家の方々で守り続けています。

### 【ジャガイモの花】



### ■名水百選に道内で一番乗り

#### 【ふきだし湧水】



京極のふきだし湧水は、夏冬と変わらない冷たさと、適度にミネラルを含んだ水のうま味をっており、約30万人の生活用水に匹敵する水量を誇っています。

ふきだし湧水は、水質に優れているのはもちろんのこと、周辺環境や親水性、さらには地域住民から親しまれているなどの社会的な条件も加味された上で、昭和60年に『名水百選』に選ばれました。

その後も、『北海道自然百選』『手作り郷土賞（大賞部門）』『水の郷百選』さらには『北海道遺産』にも選定されるなど、京極町民が慈しんできたふきだし湧水が次世代へと残していくものと認められています。



キャラクター

「ゆうくん すいちゃん」にしたキャラクターとして、多くの町民から愛されています。

町民の誇りでもある「羊蹄のふきだし湧水」を、もっと多くの人にPRしていくため、全国公募し生まれた「ゆうくん・すいちゃん」は、「湧水（ゆうすい）」をモチーフにしたキャラクターとして、多くの町民から愛されています。

### ■観光名所「ふきだし公園」

現在湧水池周辺は、「ふきだし公園」として整備され、年間80万人を超える観光客が全国各地から訪れます。海外からの観光客も多く、観光シーズンには、全国から来た貸し切りバスが駐車場を埋めつくす光景も珍しくありません。

公園内には、展望台や遊具などの施設が充実しており、春には、満開の桜の花を咲かせ、秋には綺麗な紅葉となり公園内を美しく彩ります。

また、ふきだし公園内には、道の駅「名水の郷きょうごく」が併設されており、特産品コーナーやレストランなど、訪れた方の憩いの場として親しまれています。

#### 【ふきだし公園展望台からの景色】



### ■ふるさと納税

ばれいしょの生産地として知られる京極町は、「男爵」・「キタアカリ」・「きたかむい」が返礼品の中でもたいへん人気のある商品です。



これからの時期は、羊蹄山麓の気候が抜群に美味しく新鮮なアスパラを育ててくれます。アスパラは数量限定で用意して

いますのでお早めにお申込みください。

また、水がきれいで、名水百選にも選ばれている『羊蹄のふきだし湧水』を仕込み水に使用した「名水酒京極」や、長い歳月を経て湧き出した水をネルドリップ方式で抽出した「名水珈琲」はここ京極町でしか味わえない一杯として、人気があります。

皆様から寄せられた寄附金は、京極町の美しくきれいな水や自然豊かな景観を守るため、水資源等環境保全事業に使わせていただきます。

ぜひ、ふるさと納税で京極町を応援してください。下記からお申込みができます。

△京極町ホームページ

<http://www.town-kyogoku.jp>

△ふるさとチョイス（京極町）

<https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/01399>

【羊蹄山を背景に農作業】





# 海・山・川・大平原がおりなす感動の大地 ～標津町～

標津町長 金 澤 瑛



## ■まちの概要

標津町は、北海道の最東端、根室管内の中心部に位置し、人口5,312人（平成30年1月末現在）、面積は624.68km<sup>2</sup>の町です。

本町を中心にちょうど両腕を出すように、左手に17年7月に世界遺産となった知床半島が、右手には納沙布岬を先端とする根室半島が伸びています。

正面はオホーツク海に面し、洋上わずか24km先には近くて遠い島「国後島」が、その大きな姿を見せています（写真）。

町名の由来は、アイヌ語で「シベ・ツ」（鮭のいるところ）を語源とし、江戸嘉永年間に「鮭場所」として拓かれて以来、鮭を中心として発展してきました。

水産業と酪農業を基幹産業として、根室海峡の恵みと知床連山の裾野に広が



る大地を生かした「生産の町」として発展し、現在も、環境と調和した安全食糧供給基地として、産地責任を果たす施策を積極的に展開しています。

## ■産業

当町は名のとおり、早くからサケによって拓かれ、戦後も率先してサケ・マス・ホタテ等の増殖事業に取組み、秋サケの水揚げは昭和60年から15回日本一を記録するなど、「育てて獲る漁業」の先進地として、町内でイクラや鮭製品などを製造する水産加工業と連携した国内有数の「鮭の町」となっています。



秋サケの水揚げ

また、もう一つの基幹産業である酪農は、広大で肥沃な土地を活用し、人口の4倍、約2万頭の乳牛を飼育する国内でも有数の酪農地帯として、平成28年度は年間生乳10万8,000トンを生産しています。

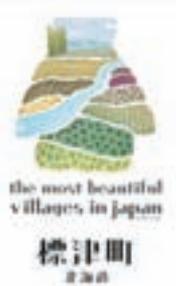


酪農業の様子

近年は、家畜糞尿を最大限に活用した資源循環型酪農（有機低コスト酪農）を目標として、クリーンで低コストの酪農を推進しています。

## ■「日本で最も美しい村」連合へ加盟

平成19年10月4日、忠類川のサーモンフィッシング・サーモンパークなど独自のサケ文化、清潔な標津漁港や酪農地帯の美しい景観、ポー川史跡などのほか、これらに関わる地域ハサップやエコ・ツーリズム事業など地域ぐるみの活動が高く評価され、厳しい審査を経てNPO法人「日本で最も美しい村」連合への加盟が承認されました。



加盟してから10年、本町では恵まれた美しい景観を保全・創造するため、沿道・公園の整備や植樹など、彩のあるまちづくりを進めております。

## ■標津町を楽しむ

### ◇標津町民祭り「水・キラリ」

(8月第1週の土日開催)

まちの産業や地域住民の生活を支えている水に感謝を込め、豊かな自然環境を100年後の未来に継承していこうという理念により、「水」をテーマとして平成11年に新たな伝統の祭りがスタートしました。

祭りは、水への感謝と環境を育んでいこうという町民の想いを一つにした儀式から、賑わいや楽しさを共有する数々の催し、町全体が一体となり喜びと感謝を表す5基の山車と踊り手等による勇壮な巡行が行われます。



曳山巡行(大漁の山車)

### ◇忠類川サーモンフィッシング

(8月～11月・事前予約必要)

知床半島の付け根に位置する忠類川は、平成7年に全国で初めてサーモンフィッシングが可能になった川です。

平成26年にはサーモンフィッシング20周年を記念して、忠類川サーモンダービーが開催されました。

サケマスの有効利用と河川管理を兼ねて、国内スポーツフィッシングのモデル的河川となっています。



忠類川サーモンダービー

### ◇しべつあきあじまつり(9月最終日曜日開催)

鮭の産地アピールを目的に、各種サケ料理を味わえるグルメ屋台村や、地元の水産加工品・農産物販売などが行われます。

朝獲り秋サケ販売には、新鮮なサケを求める方々が列をなし、最高級のイクラを提供するイクラ丼1,000



サケつかみどりレース

食の無料配布やサケつかみ取りレースを中心に、味覚や賑わいのイベントが盛り沢山です。

### ◇町民還元「秋サケ」、「ホタテ」、「バター」の無料配布

豊かな自然環境が町民によって守られているなど、資源保護や生産活動に対する町民の深い理解に対し、感謝の意を込めて、鮭定置漁業部会から秋サケ1尾、漁協漁船部会からホタテ2kg(7～8枚)、農協からバター400g(200g×2個)が町内全世帯に無料で配付されます。町外からの転入者は、一様に驚きます。



秋サケの無料配布

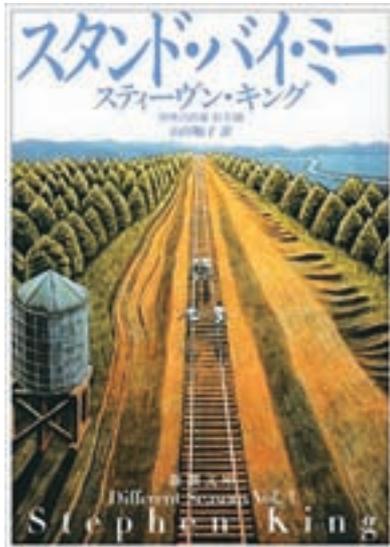


ホタテ、バター無料配布

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

北海電気工事(株)

取締役社長 吉本 浩昌



スティーヴン・キングという作家をご存じの方も多いものと思います。モダンホラーというジャンルで数多くのベストセラーを出しており「グリーンマイル」など、映画化されている作品も数多くあります。その昔、「読んでから見るか、見てから読むか」というキャッチコピーがありました。「読んでから見る」と原作に対する見方も変わってくるのでは、という彼の作品をふたつご紹介したいと思います。



まず「スタンド・バイ・ミー」という作品です。1950年代のアメリカ東部（映画では西部）の田舎町を舞台に、夏休みに少年が仲間4人で行った冒険の旅を描いた作品です。たった1泊ですが旅の終わりに自分の将来に向き合うことを始める少年の成長の様子が、映画の力で最後に見事に伝わってきます。原題は「ザ・ボディ」といいますが、ご覧になった方はピン！とくるのではないのでしょうか。

もうひとつは「刑務所のリタ・ヘイワース」という作品で、映画ではエンディングのシーンが印象的な「ショーシャンクの空に」として有名な作品です。ストーリーはよくある無実の者が刑務所から脱獄する過程を描いたものです。たかだか百数十ページの中編小説ですが、映像の世界で描くとこんなにリアルになるものかと、最後は思わず“ヤッター！”と天を仰いでしまうものと思います。



スティーヴン・キングの作品の真骨頂は人間の恐怖心を刺激するところにあります。ちょっと飛んだ感じの架空のイメージをテーマとした作品もあるので、映画では描ききれていなかったり、原作とはかけ離れた作品となってしまっているものもあります。ただこのふたつの作品は、人間の心の葛藤を描写させても確かな才能を示す彼の筆力を本で楽しみ、さらに映画が持つ表現力の素晴らしさも楽しめる作品だと思います。機会があればぜひまず原作を読み、そして映画を見て、両方で楽しんでいただければと思います。

平成29年度

# 「建設産業ふれあい展」

みて☆つくって☆体験して！

(開催会場)

札幌駅前通地下歩行空間  
(大通から北3条まで)

(開催時間)

13日(土) 10時～16時

14日(日) 10時～16時

来場者数

13日(土) 43組131人

14日(日) 52組156人



平成30年1月13日、14日の両日建設業の重要性、幅広い職種とそれぞれの魅力を知ってもらう「建設産業ふれあい展」が札幌駅前地下歩行空間で開催されました。

今年で3回目となるタイトルは「みて、つくって、体験して」。主催は北海道と札幌市で、(一社)北海道建設業協会が協賛し、当協会も含めて建設業、専門工事業から12団体と北海道、札幌市が参加し17のブースが出展いたしました。

当協会は昨年に引き続き、小学生などを対象として「身近な材料で電池作り」として、レモンを材料にした「くだもの電池」作り、フィラメント材に身近なシャープペンシルの芯を利用した「エジソン電球」作りを設置いたしました。

親子で参加いただいたお母さんから、くだもの

電池で電子ブザーが鳴ったことに、驚きの声が出るなど子供も大人も笑顔で体験していただきました。

またブース内では事前に実験した様子のDVDの放映などや電気設備の種類や仕事分かるパネルを展示して当業会のPRも行いました。

主催者発表として、来場者は2日間で延べ15,000人と昨年の数を上回り、多くの方から「楽しかった」「勉強になった」などのご意見が寄せられました。



# お 知 ら せ

## 平成30年度「登録電気工事基幹技能者認定講習会」

### 【申込受付期間】

平成30年 7月20日(金)～8月20日(月)まで

### 【開催日】

平成30年10月27日(土)～28日(日) 2日間

### 【開催場所】

北農健保会館

(札幌市中央区北4条西7丁目1-4)

### 【受講資格者】

(1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

- ① 電気工事の直接施工業務に従事して、該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があること。
- ② 労働安全衛生法第60条による建設業としての職長教育（施行令第19条、施行規則第40条）を修了して、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者。
- ③ 第一種電気工事士免状を取得していること。

(2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する。

- ① 実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実に相違がない旨の誓約書（署名、捺印）が必要。
- ② 職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育（施行令第19条・業種、施行規則第40条・事項及び講習時間）終了証の写し。
- ③ 第一種電気工事士免状の写し

### 【受講料】

18,500円（受講料には、受講費、教材費、修了証発行費用が含まれます。）

9,250円

- ・平成28・29年度の認定講習会を受講し、試験で不合格となった者で試験のみ受験する者。
- ・平成29年度の修了証有効期限を6カ月以上経過し、1年未満の者。

### 【申込方法】

所定の申込用紙により(一社)日本電設工業協会北海道支部（北海道電業協会）に提出。

申込用紙は、(一社)日本電設工業協会のホームページからダウンロード願います。

# 平成30年度「電気工事施工管理技術検定試験」受験講習会

## ○ 1 級学科

### 【申込期限】

開催初日の8日前まで（4月9日）

### 【開催日】

平成30年4月17日(火)～18日(水) 2日間（開催地：札幌）

### 【申込方法】

◆一般財団法人地域開発研究所ホームページから（<http://www.ias.or.jp>）

・方法1～直接申し込みができます。

・方法2～FAX申込用紙をプリントアウトして申し込みができます。

◆講習会案内が同封の郵便局専用「払込取扱票」

・方法3～講習会案内書に同封の郵便払込書用紙で、最寄りの郵便局から申し込みができます。

### 【開催場所】

北海道建設会館 会議室

（札幌市中央区北4条西3丁目1 電話011-261-6188）

### 【学科試験日】

平成30年6月10日(日) 合格発表 平成30年7月20日(金)

## ○ 1 級実地

### 【申込期限】

Aコース（1日＋施工経験記述添削指導）平成30年7月30日(月)

Bコース（1日） 開催日の8日前まで（8月28日）

### 【開催日】

平成30年9月5日(水) 1日間

### 【申込方法】 1級学科に同じ

### 【開催場所】

北海道建設会館 会議室

（札幌市中央区北4条西3丁目1 電話011-261-6188）

### 【実地試験日】

平成30年10月14日(日) 合格発表 平成31年2月1日(金)

## 業界だより

### 【法人職務執行者の変更】

(平成30年2月2日付)

○帯広電業協会

(新) 会長

川岸 哲夫

(旧) 会長

板倉 利男

### 【退会のお知らせ】

(平成30年3月31日付)

日鉄住金テックスエンジ(株)札幌営業所

### 【住所の変更】

(平成29年12月18日付)

栗原工業(株)札幌営業所

(新) 〒060-0061 札幌市中央区南1条西6丁目

21-1 センチュリーヒルズ6F

TEL011-211-0917 FAX011-211-0918

## 理事会・委員会報告

### || 理 事 会

◇平成30年1月23日(火) 12:00~13:40

#### 第6回議題

##### 【協議事項】

1. 当協会創立50周年記念祝賀会4について
2. 平成30年度の会費収入見込額と収支予算案の策定について
3. 平成29年度「建設産業ふれあい展」の開催結果について  
以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 平成29年度 電設業関連4団体懇談会の開催について
2. 平成29年度 北海道赤レンガ建築賞の決定について
3. 電気・空衛連絡協議会及び幹事会並びに札幌市都市局との意見交換会の開催について
4. 平成29年度技術講習会の開催について
5. 平成29年度登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告

6. 会報への寄稿協力について

7. 会員の諸変更について

8. その他意見交換会

以上概要を報告(宇野専務理事)

◇平成30年3月28日(水) 12:00~13:30

#### 第7回議題

##### 【協議事項】

1. 役員の補欠選任について(北海道電業協会、電設協道支部)
2. 電業協会第52回、電設協第62回定時総会準備スケジュール(案)
3. 平成30年度の会費収入と収支予算案の策定について(変更)
4. 電業協会第52回定時総会付議事項について
5. 電設協道支部第62回定時総会付議事項について
6. 会員への定時総会開催案内(案)について
7. 定時総会看板などホテルへの発注品について  
(以下省略)

## 【報告事項】

1. 当協会創立50周年記念祝賀会について
2. 北海道電業協会功績表彰者の推薦について
3. 電設協 三輪賞・富井賞の推薦について
4. 電設協 支部永年勤続役員の表彰について
5. 第1回建設業社会保険推進北海道地方連絡協議会及び北海道建設業社会保険加入推進地域会議の概要報告
6. 札幌市「災害時協力協定」の行動フローについて
7. 電気・空衛連絡協議会 及び 札幌市都市局との意見交換会の概要報告  
(以下省略)

## || 三 役 会

◇平成30年1月12日(金) 13:00~14:30

### 第10回議題

#### 【報告事項】

1. 平成29年度 電設業関連4団体懇談会の開催について
2. 平成29年度 北海道赤レンガ建築賞の決定について
3. 平成29年度 技術講習会の開催について
4. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告
5. 「建設産業ふれあい展」への対応について
6. 電気・空衛連絡協議会及び幹事会並びに札幌市都市局との意見交換会の開催について
7. (-社)北海道設備設計事務所協会 新年交礼会への出席について
8. 会員の諸変更について

#### 【協議事項】

1. 当協会創立50周年記念祝賀会について
2. 平成30年度の会費収入見込額と収支予算案の策定について
3. 会報への寄稿協力について

#### 【その他事項】

1. 平成30年1月~2月の行事予定について
2. その他意見交換

◇平成30年2月16日(金) 14:00~15:50

### 第11回議題

#### 【報告事項】

1. 平成30年度 技術講習会の地方開催について
2. 平成30年度 電設協 定時総会改選期の「理事、監事及び諮問委員の定数」について
3. 本部・支部事務連絡会議(下期)の報告
4. 道空衛及び札幌空衛の合同懇親会への出席について
5. 札幌弱電設備業協同組合の総会后意見交換会への出席について
6. 北海道建築士会の定時総会意見交換会への出席について
7. 会員の諸変更について
8. 平成30年2月~3月行事予定について
9. その他意見交換

◇平成30年3月13日(火) 12:00~13:30

### 第12回議題

#### 【報告事項】

1. 協会創立50周年記念祝賀会について
2. 電設協 三輪賞・富井賞の推薦について
3. 北海道建築士会事務所協会定時総会後の懇親会出席について
4. 定時総会招集通知(案)について
5. 顧問会の開催について
6. 会員の退会
7. 平成30年3月~4月行事予定について
8. その他意見交換

#### 【協議事項】

1. 定時総会準備スケジュール(案)について
2. 平成30年度 収支予算(案)について
3. 役員の補欠選任について  
(北海道電業協会、電設協道支部)
4. 顧問会の開催について

## || 総務委員会

◇平成30年3月7日(水) 12:00~13:30

### 第6回議題

1. 当協会創立50周年記念祝賀会について
2. 平成29年度「建設産業ふれあい展」の対応結果について
3. 札幌市「災害時協力協定」の行動フローについて
4. 定時総会準備スケジュール（案）について
5. 総務委員会 平成29年度事業実施報告（案）
6. 総会議案書に掲載する平成29年度会計報告・事業報告（案）
7. 総会議案書に掲載する平成30年度事業計画（案）
8. 平成30年度 収支予算（案）について
9. 平成30年度 北海道電業協会功績表彰候補者の選考及び推薦について
10. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成30年3月19日(月) 12:00～13:00

### 第5回議題

1. 第4回議事録の承認について
2. 平成29年度 電設業関連4団体懇談会について
3. 電設協 第277回政策委員会の開催概要について
4. 「建設産業ふれあい展」参加報告について
5. 平成29年度 経営委員会事業活動状況について
6. 平成30年度 経営委員会事業実施計画（案）について
7. その他意見交換

## 広報委員会

◇平成30年3月14日(水) 13:00～17:30

### 第4回議題

1. 平成29年度 事業実施状況について
2. 平成30年度 事業実施計画について
3. 会報「夏号」の編集方針（案）
4. 会報「春号」の校正
5. 第13回 記念誌校正会議
6. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成30年3月8日(木) 12:00～13:00

### 第4回議題

1. 実施報告
  - ①平成29年度 技術講習会
  - ②平成29年度 委員会事業実施報告
2. 平成30年度 委員会事業実施計画（案）について
3. 各講習会のお知らせ
  - ①技術講習会～釧路開催 平成30年4月13日(金)
  - ②平成30年度「技術安全基礎教育講習会」(新人研修)
  - ③平成30年度 電気工事施工管理技士受験準備講習会（1級学科・実施）
  - ④平成30年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会
4. その他意見交換

## 厚生委員会

◇平成30年3月7日(水) 16:00～17:30

### 第2回議題

1. 平成29年度 各部会行事实施報告について
2. 平成30年度 部会実施計画（案）について
3. 平成30年度 予算（案）について
4. その他意見交換

## 事務局日誌

- 1月5日(金)・官庁新年あいさつ  
10日(水)・本部電設協賛詞交歓会  
(東京)吉本支部長他  
12日(金)・電気関係3団体賀詞交歓会  
(札幌グランドホテル)吉本会長他  
・第10回三役会議  
13日(土)・建設産業ふれあい展  
～14日(日) (地下歩行空間)  
18日(木)・記念誌編纂委員会(北二条クラブ)  
23日(火)・第6回理事会・常議員会  
・座談会アイワードとの打合せ  
(北海道電気会館)萩本委員長  
・札幌商工会議所表彰式他  
(札幌パークホテル)宇野専務  
25日(木)・本部常任理事会  
(本部会議室)吉本支部長  
・業界団体連絡協議会第3回情報交換会  
(経済センター)宇野専務  
・北海道設備設計事務所協会新年交礼会  
(ポールスター札幌)山口副会長  
30日(火)・札幌市災害時協力協定連絡会議  
(札幌市役所)宇野専務他  
31日(水)・座談会事前打合せ  
(協会事務室)吉本会長他  
・平成29年度北海道赤レンガ建築表彰式  
(赤レンガ庁舎)宇野専務
- 2月1日(木)・電設協本部・支部事務連絡会  
(本部会議室)宇野事務局長  
2日(金)・技術講習会  
(北海道電気会館)類家事務局長  
13日(火)・業界団体連絡協議会第4回情報交流会  
(経済センター)  
15日(木)・建設専門業の経営革新支援研修会  
(札幌第一ホテル)  
16日(金)・第11回三役会議  
・電設業関連4団体懇談会  
(北電興業ビル)吉本会長他  
20日(火)・第1回建設業社会保険推進北海道地  
方連絡協議会  
・建設産業セミナー  
・北海道建設業社会保険加入推進地域  
会議  
・建設キャリアアップシステム説明会  
(合同庁舎)宇野専務他  
26日(月)・座談会(記念誌企画)  
(北二条クラブ)吉本会長他  
27日(火)・道空衛懇親会  
(さっぽろ芸文館)吉本会長
- 3月6日(火)・電気空衛連絡協議会幹事会  
・電気空衛連絡協議会  
・札幌市都市局との意見交換会  
7日(水)・第6回総務委員会  
・第2回厚生委員会  
8日(木)・第4回技術安全委員会  
9日(金)・ゴルフ部会  
12日(月)・建設キャリアアップシステム等説明会  
(建設会館)宇野専務他  
・札幌弱電設備業協同組合総会後の意  
見交換会  
(ライフォート札幌)鈴木副会長  
13日(火)・第12回三役会議  
・本部第277回政策委員会  
(本部会議室)笠島経営副委員長  
14日(水)・第4回広報委員会  
15日(木)・本部第348回運営委員会  
(本部会議室)吉本支部長  
19日(月)・第5回経営委員会  
20日(火)・北海道建築士会定時総会意見交換会  
(札幌ガーデンパレス)  
22日(木)・本部理事会  
(ホテルグランドパレス)吉本支部長  
・記念誌編集会議  
23日(金)・平成30年電気記念日表彰式  
(札幌グランドホテル)類家事務局長  
・北海道建築士事務所協会懇親会  
(ANAクラウンプラザホテル)鈴木副会長  
28日(水)・第7回理事会・常議委員会  
・第2回運営協議会

## 会 員 行 動 目 標

### 第一 法令等の社会ルールを守る

1. 事業者倫理に則った公正な事業活動  
社会を構成する一員として、事業者倫理に則って公正な事業活動を行う。また、これに必要な体制の整備に努めるものとする。
2. 関係法令の遵守の徹底等  
電気設備工事業全般に関係が深い建設業法、電気工事業法、労働安全衛生法等にかかる立法の精神に沿って、厳正な法令遵守に努める。  
特に工事の入札に関しては、独占禁止法等諸法令に違反して入札の公正・公平を阻害する行為を行わない。また、社会から疑惑を持って見られかねない組織に加わらない。
3. 政治、行政との健全な関係の確保  
政治、行政との健全な関係の確立に留意する。いかなる場合にあっても、贈賄行為や政治資金規正法等に違反する行為を行わない。
4. 反社会的勢力の排除  
企業を取り巻く反社会的勢力からの不当な要求に応じない。問題が発生した場合又はその虞がある場合には、速やかに警察の協力を求める。また、反社会的勢力を利用する行為は絶対に行わない。

### 第二 適正な事業活動を通じて社会的使命・役割を遂行する

1. 良質な製品・サービスの提供  
顧客や社会の期待と信頼を直視し、生産性の向上や品質の改善を図り、適正価格で良質な製品・サービスの提供を行う。これに必要な経営の合理化、技術開発の促進、生産システムの改善、人材の確保・育成、安全対策の強化等に努める。
2. 適正で節度ある市場競争の展開  
良質な製品・サービスの提供と電気設備工事業の健全な発展を実現するため、コストを度外視した安値受注（いわゆるダンピング受注）は行わない。また、技術力、施工能力等を考慮し、経済合理性に立った節度ある受注活動を行う。
3. 電気設備工事における分離発注の拡大  
独自の技術・施工体制を有し、高度な専門分野を形成している電気設備工事分野において、顧客ニーズへの対応、品質の確保、施工責任とコストの明確化等の観点から合理的な分離発注が拡大されるよう、関係各方面に対し積極的に働きかけを行う。
4. 建設生産関係者との公正で合理的な関係の構築  
建設生産におけるあらゆる関係者（顧客、設計・工事監理者、元請事業者、下請事業者、資機材事業者等）との公正で合理的な関係の構築に努める。
5. 情報開示及び社会各層とのコミュニケーションの展開  
事業活動に関わる必要な情報開示を行うほか、顧客、株主、マスコミなど社会各層とのコミュニケーションを積極的に行う。
6. 環境問題への取組み強化  
事業活動全般にわたって公害防止、省エネルギー化、廃棄物の削減・適正処理・リサイクルに努め、地球環境問題を含めた様々な環境問題への取組みを強化する。
7. 社会貢献への努力  
あらゆる事業活動が社会に支えられているとの認識に立ち、「良き市民」として社会から厚い信頼を受けることは、緊要である。このため、各会員は、事業活動の各面において積極的な社会貢献に努める。

# お 知 ら せ

## **(-社)北海道電業協会 第52回定時総会ならびに (-社)日本電設工業協会 北海道支部第62回定時総会の開催について**

1. 開催日時 平成30年5月11日(金) 15時00分～16時30分
2. 会 場 札幌グランドホテル 別館2階 グランドホール (東)  
(札幌市中央区北1条西4丁目 TEL 011-261-3311)

## **(-社)北海道電業協会 創立50周年ならびに (-社)日本電設工業協会 北海道支部創設60周年 記念祝賀会の開催について**

1. 開催日時 平成30年5月11日(金) 17時30分～19時00分
2. 会 場 札幌グランドホテル 本館2階「金枝」  
(札幌市中央区北1条西4丁目 TEL 011-261-3311)

## 編集後記

ピョンチャン冬季五輪は北海道出身選手の大活躍のうちに終了、この頃は本州から桜の便りも届き、北国の春本番もあと一步の時期となってまいりました。

「そだね～!!!」

この度は北海道経済産業局 電源開発調整官 多田 好克様から「長期的な将来を見据えたエネルギー政策の検討」と題して巻頭言をいただきましたが、今後とも更なるご指導、ご鞭撻をお願いする次第です。

ところで、現在、広報委員会が中心となり、当協会発足50周年記念誌の編纂に取り組んでおります。今回の広報誌 春号が発刊される頃、この50周年記念誌編纂はいよいよ第4コーナーを廻って直線、ゴール寸前、といった段階と思われま

す。

一口に50年、以前は「十年一昔」と呼ばれた時代ですので、歴史の重みを感じます。しかし昨今、時計の性能が飛躍的に向上したためでしょうか？私には、針の進み方が異常なほど早く感じられるこの頃です。(50年以上前、放映されたTV番組「ふしぎな少年」のように、『時間よ～！止まれ！』と叫びたいところです：ムンクの気持ち)

50年前、小生は中学卒業の頃で、当時、雪が降ってきた際、傘をさす北海道人は極めて稀であったと記憶しています。

本州からの転勤族が、傘をさすことを始めたようですね！ 次第に広まり、現在では、至極当たり前の光景となりました。

時代も変わり、その変化に適宜対応するには「時間遅れ」も生じますが、袴を着ることなく、せめて「雨が降りそうな天気予報の際は傘を用意する」「雨が降ってきたら速やかに傘をさす」などの対処法をごく当たり前のこととして様々な面で心掛けたいものです。

広報委員会 副委員長 小笠原 憲生





発行 平成30年4月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区北1条東3丁目1-1  
北電興業ビル4階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodengkyo@estate.ocn.ne.jp  
<http://www.dodengyo.jp/>